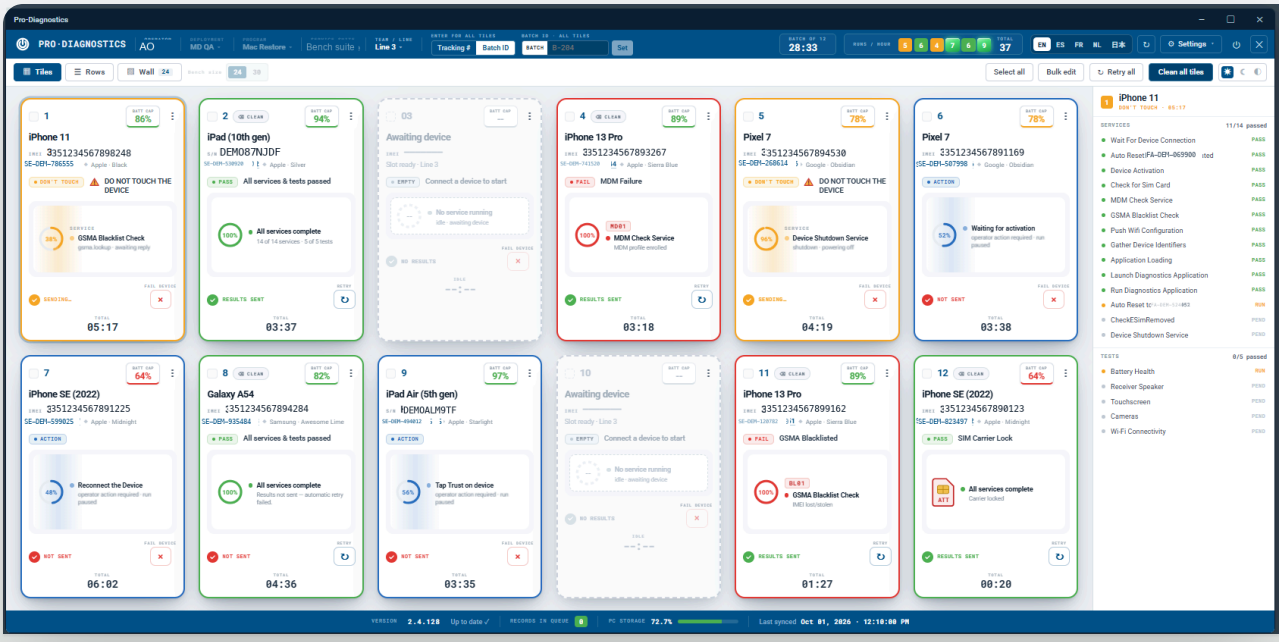
PRO-DIAGNOSTIC DESKTOP

1台の作業台で複数のデバイスを、それぞれ個別のレコードとともに。

作業台でのマルチデバイス iOS・Android 診断を、Windows ステーションでも Mac でも。Android 133テスト、iOS 83テスト、ADISA 保証レベル 4 認証取得済みの消去、そして誰でも照会できる証明書。



対象読者
デバイス処理事業者の運用・IT・コンプライアンス責任者

テスト・動作環境
iOS · Android · Windows · macOS

ウェブ
assetscience.com

概要一覧

購入検討者が必ず尋ねる8つの質問に、1ページで回答します。

Pro-Diagnostic Desktop（PDD）は、オペレーターが向き合うステーションアプリです。1台の作業台で複数のデバイスを同時に扱い、それぞれが自身のスイートを実行し、同じ Control Center に報告します。

証明書 — はい

デバイスごとに1通の証明書：PDF ダウンロード、verified.assetscience.com で IMEI・シリアル・MEID・GUID から誰でも開ける公開ウェブページ、そして一括 PDF または CSV エクスポート。

ADISA 認証取得済み — AAL 4

Pro-Diagnostics は **ADISA 保証レベル 4 の認証を取得しています。**ADISA Research Centre の Product Claims Test による独立検証済みです。

消去の方式 — NIST 800-88

コンテンツ消去（iOS・Android）、**Express Connect**（USB デバッグ不要の Android 16+ 向け）、そして **スマートフォンのフラッシュ書き換え。**NIST 800-88 準拠で、使用した方式はレポートに明記されます。

ガイド付きユーザーテスト — はい

ガイド付きテストはデバイス上に **1画面ずつ、固定された順序で**表示され、指示が画面に出ます。テストは測定可能なものを測定し、判定を求める前に測定値を表示します。

テストの種類 — 133 · 83

Android 133テスト、iOS 83テスト 。オーディオ、バッテリー、ボタン、カメラ、接続、ディスプレイ、センサー、システムを網羅し、毎回ロックと不正検出も実行します。

主な機能 — 4

マルチデバイス同時テスト（1ステーション上）· **タイル・行・ウォール** の各ビュー · **実行中のロックと不正検出** · **認証取得済みの消去** と公開証明書。

対応プラットフォーム — iOS · Android

テスト **iOS と Android**：Android 7,000+ モデル、iOS 90モデル・4,500バリアント。 **Windows または macOS** のステーションで、どちらでも同じスイートを実行します。USB-C、Lightning、Micro-USB に対応。

データ分析と API — REST

すべての実行が Control Center に記録されます: **ユニット単位の履歴、オペレーター監査、UPH ダッシュボード。**レコードは **Back-Office REST API** から、また CSV・Excel エクスポートとして取得でき、レポートの定期配信も可能です。

133
Android テスト
iOS 83テスト

7,000+
Android モデル
iOS 90モデル · 4,500バリアント

7
オペレーター言語
EN · ES · FR · DE · IT · JA · NL

AAL 4
ADISA 保証レベル
Product Claims Test

当社が行わないこと。 当社はロックを報告するのみで、解除も回避も行いません。ロックされたデバイスはロック済みとして記録され、カード上にロック名が表示され、お客様のワークフローに従って振り分けられます。

機能概要

デバイスを接続し、識別し、プログラムが指定するスイートを実行します。

自動テストはオペレーターの操作なしで実行されます。ガイド付きテストは1画面ずつ、固定された順序で、指示を画面に表示してオペレーターに渡されます。結果はデバイスごとに1件のレコードとなり、Control Center に送信され、証明書として利用できます。

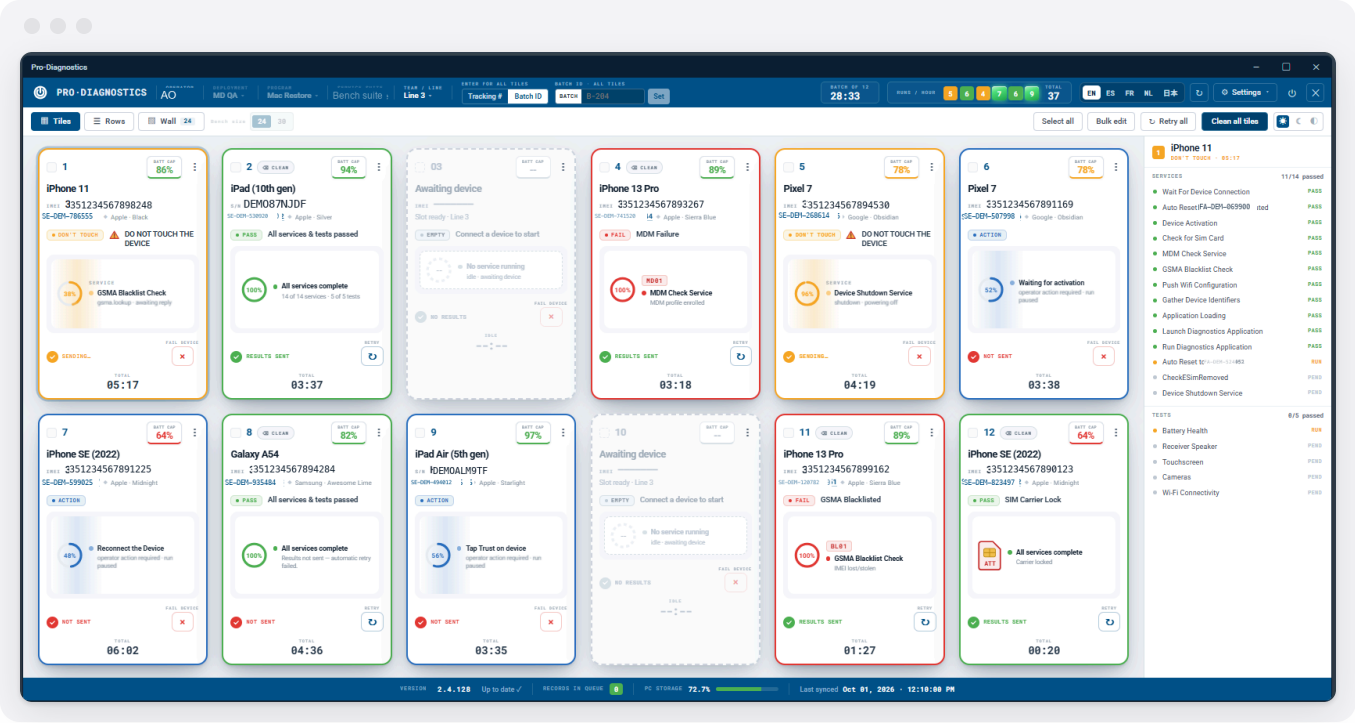


図1　Pro-Diagnostics Desktop → タイル。1ステーションに12スロット。各カードは自身のデバイス、サービス状態、バッテリー容量、タイマーを表示し、右のレールには選択中のユニットで実行中のすべてのサービスとテストが並びます。表示されている識別子は架空のものです。

デスクトップアプリは現場の作業面そのものです。 **接続中のすべてのデバイスをカードとして表示し**、実行中のサービス、待機中の内容、経過時間を示します。失敗したときは、ログではなくカード上に該当サービスと理由が表示されるため、オペレーターは調べる必要のあるコードではなく「GSMA Blacklisted · IMEI lost/stolen」をスロット上で読み取れます。

機械で実施できるテストは機械が行います。バッテリー状態、ストレージ、OS バージョン、通信事業者、ロック状態、SIM 検出は、デバイスに触れずに読み取られます。オペレーターが中断されるのはガイド付きテストで手が必要なときだけで、その旨がカードに表示されます。

- **複数デバイスの同時処理** 。1ステーション上で、各スロットが自身のプログラムを実行します。
- **スロットごとのサービス状態**、バッテリー容量、経過時間をすべてのカードに表示。
- **一括編集、全件リトライ、全件クリーン** を作業台全体に適用。
- **バッチおよび追跡用識別子** を全スロットに一括付与。
- **失敗時はサービスと理由を明示** （カード上に表示）。
- **7言語のオペレーター言語**：EN · ES · FR · DE · IT · JA · NL。

ステーション

同じ作業台を3つのビューで、Windows でも Mac でも。

詳細にはタイル、密度には行、トリアージにはウォール。ステーションは
どちらのホストでも動作し、どちらでも同じ製品です。

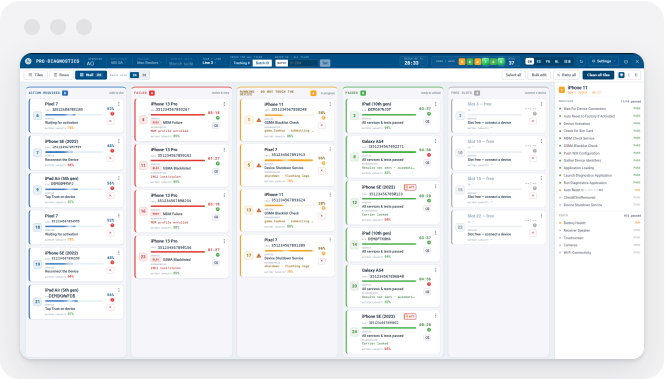


図2 Pro-Diagnostics Desktop → ウォール。次に人の手が必要なものから並べた作業台: 要対応、失敗、実行中、合格、空き。監督者はすべてのタイルを見渡さずに、該当スロットへ直接向かえます。

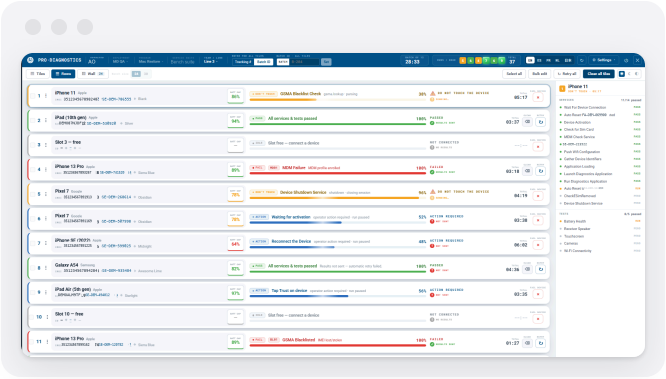


図3 Pro-Diagnostics Desktop → 行。同じ実行をスロットごとに1行へ圧縮し、現在のサービスとその進捗を表示します。

Windows でも Mac でも、同じ作業台。

混在環境の現場でも数値は1系統に保たれます。スイート、失敗コード、レコード形式がどちらのホストでも同一であるため、デバイス履歴が OS ごとに分岐することはなく、すでに Mac を運用している現場が診断のために Windows マシンを購入する必要もありません。

- **同一のテストスイート**（Windows と macOS）。
- **同一の Control Center プログラム**、失敗コード、レポート。
- **同一のレコード形式**。履歴がホストごとに分岐しません。
- **Workflow Manager** は全工程を1ステーションで実行するか、複数に分割します。結合されたセッションは1ページの結果として出力されます。

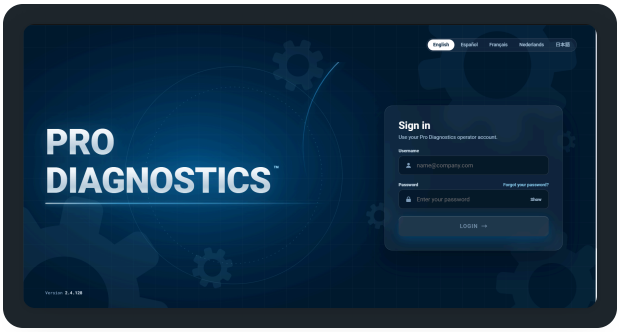


図4 Pro-Diagnostics Desktop → サインイン。ステーションはお客様の Control Center テナントに対してサインインし、オペレーターは入口で言語を選択します。

1スロット、1デバイス、4ステップ。

1. **接続**
   IMEI またはシリアルで識別し、ステーションのスクリプトがプログラムを設定します。
2. **テスト**
   まず自動テストを無操作で。次にガイド付きテストを1画面ずつ。
3. **消去**
   方式はデバイスごとに選択され、レポートに明記されます。
4. **証明**
   Control Center に1件のレコード、PDF、公開照会。

ガイド付きテストと自動テスト

尋ねるだけでなく、測定するガイド付きテスト。

動作したかどうかをオペレーターに尋ねるだけのガイド付きテストは、手間のかかる主観にすぎません。当社のテストは観測した内容を報告します: 深度の測定値、ボタンのカウンター、信号値。オペレーターは記憶ではなく証拠に基づいて確認します。

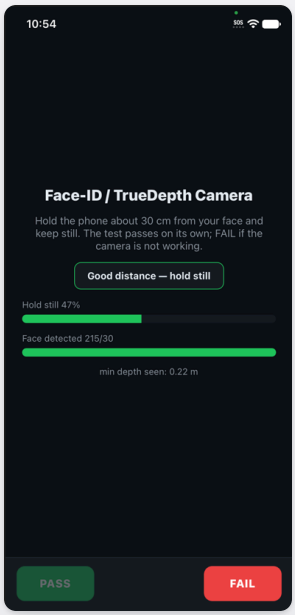


図5 デバイス上 → Face ID。静止保持率、検出フレーム数、最小深度が、判定を求める前に報告されます。テストは自動で合格します。

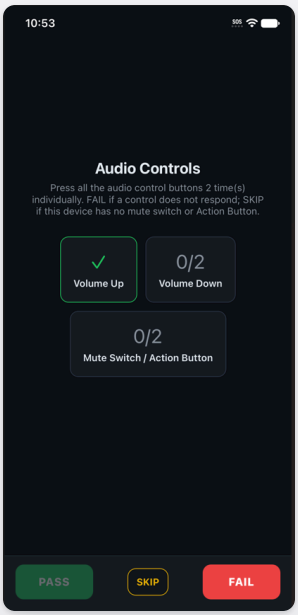


図6 デバイス上 → オーディオコントロール。ボタンごとのカウンターとスキップボタン: ミュートスイッチのないデバイスは失敗ではなくスキップされます。

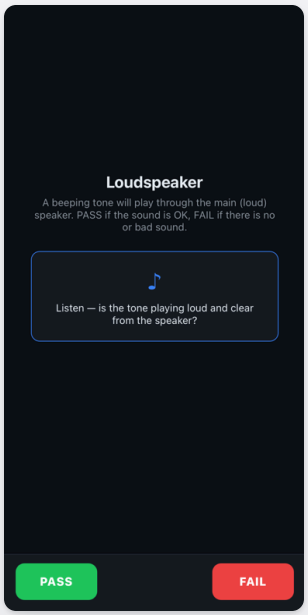


図7 デバイス上 → ラウドスピーカー。1画面に1つの指示。解釈も記憶も不要です。

ゼロタッチ・ステーションから読み取り

- バッテリー状態
- バッテリー残量
- iCloud ロック確認
- 内部ストレージ
- Root/Jailbreak 確認
- OS バージョン
- 通信事業者名
- Bluetooth LE
- SIM カード検出
- Wi-Fi 接続
- 振動（ループバック）
- マイク（ループバック）

自動・オペレーター操作不要

- 振動
- SD カードの有無
- Bluetooth
- Wi-Fi
- USB 接続
- Root/Jailbreak
- マイク
- スピーカー
- カメラ（iOS）
- 動画撮影
- Face ID
- ジャイロ／加速度センサー

- **デバイスに搭載されていないハードウェアはスキップされ**、失敗にはなりません。
- **失敗すると失敗コードの選択画面が開き**、理由がレコードとともに残ります。
- **オペレーターのオーバーライドはオーバーライドとして記録され**、合格としては記録されません。

テストカタログ · IOS

iOS 83テスト。

公開カタログをカテゴリ別に掲載します。以下に挙げる66テストはカタログ掲載分であり、iOS スイート全体では83テストです。

自動 オペレーター操作なしで実行　ガイド付き デバイス上に1画面ずつ表示

オーディオ · 13テスト

ヘッドセット / ヘッドセットの抜き差し / ヘッドセット録音 / ヘッドセットのステレオ音声 / ヘッドセットの音量ボタン / ループバック振動 / ラウドスピーカー / 受話スピーカー / メインマイク（ループセルフテスト・録音） / セカンダリマイク（ループセルフテスト・録音） / ステレオラウドスピーカー / 第3マイク（ループバック・録音） / メディアボタン

バッテリーと電源 · 2テスト

バッテリー充電回路 / ワイヤレス充電

ボタンとコントロール · 9テスト

オーディオコントロール / ホームボタン / ミュートスイッチ / 電源ボタン / 電源＋ホームボタン / 電源＋音量アップ / サイドスイッチ / 音量ダウン / 音量アップ

カメラ · 12テスト

背面カメラ / 背面カメラのフラッシュ / 背面カメラ（望遠） / 背面カメラ（超広角） / 背面カメラ（広角） / フラッシュ LED / 前面カメラ / 第2背面カメラ / 第3背面カメラ / True Depth カメラ / 映像出力 / 動画撮影

接続 · 8テスト

Bluetooth LE / 携帯電波強度 / Bluetooth 接続 / GPS / NFC / 通話 / USB の抜き差し・揺動 / Wi-Fi 接続

画面とディスプレイ · 3テスト

バックライト / ディスプレイ / タッチスクリーン

センサー · 10テスト

加速度センサー / Face ID / ジャイロスコープ / 地磁気センサー / モーションセンサー / 近接センサー / Smart Cover / Touch ID / 振動 / 画面の自動回転

システム · 9テスト

通信事業者名／選択 / Find My iPhone / iCloud / IMEI テスト / 内部ストレージ / OS バージョン / Root 確認 / SIM カード / ストレージ容量

対応範囲。 iOS 90モデル・4,500バリアント。そのモデルで実行できないテストはスキップされ、スキップとして記録されます。失敗にはなりません。モデルごとの対象／除外はテスト単位で Control Center で設定します。

テストカタログ · ANDROID

Android 133テスト。

公開カタログをカテゴリ別に掲載します。以下に挙げる103テストはカタログ掲載分であり、Android スイート全体では133テストです。

オーディオ · 14テスト

ヘッドセット / ヘッドセットのモノラル／ステレオ音声 / ヘッドセットの抜き差し / ヘッドセット録音 / ヘッドセットの音量ボタン / ⚡ ループバック振動 / ラウドスピーカー / 受話スピーカー / ⚡ メインマイク（ループセルフテスト・ループバック・録音） / ⚡ セカンダリマイク（ループセルフテスト・ループバック・録音） / ステレオラウドスピーカー / ⚡ 第3マイク（ループセルフテスト・ループバック・録音） / 音声認識 / メディアボタン

バッテリーと電源 · 5テスト

バッテリー充電回路 / ⚡ バッテリー状態 / ⚡ バッテリー残量 / 着脱式バッテリーの状態 / ワイヤレス充電

ボタンとコントロール · 23テスト

Active ボタン / オーディオコントロール / 戻るボタン / Bixby ボタン / カメラボタン / カスタムボタン / フォーカスボタン / 感圧式ホームボタン / ホームボタン / キーボードの開閉・ボタン / メニューボタン / メニューボタン長押し / ミュートボタン / 電源ボタン / 電源ボタン＋LED / クイックボタン / Quick Clip ボタン / 検索ボタン / ソフトキーのバックライト / スピーカーボタン / タスクマネージャーボタン / 音量ダウン / 音量アップ

カメラ · 9テスト

背面カメラ / 背面カメラのフラッシュ / カスタムカメラ / フラッシュ LED / 前面カメラ / 第2背面カメラ / 第2前面カメラ / 第3背面カメラ / ⚡ 動画撮影

接続 · 10テスト

⚡ Bluetooth 接続 / MHL 取り外し / NFC / NFC Jig / NFC オフ / NFC パッシブ / 通話 / USB の抜き差し・揺動 / USB OTG / ⚡ Wi-Fi スキャナー

その他 · 9テスト

背面 LED / 背面 LED リング / ホールセンサー / 赤外線エミッター / LED / MHL / 背面カバーの取り外し / S Pen（ボタン・ホバー・挿入・描画・取り外し） / マルチタッチ

画面とディスプレイ · 5テスト

バックライト / ディスプレイ / エッジスクリーンの描画 / LCD ホバー / タッチスクリーン

センサー · 18テスト

⚡ 加速度センサー / 加速度センサー・地磁気センサー / Active Edge センサー / ⚡ Face ID / 指紋リーダー / ジェスチャーセンサー / グリップセンサー / ⚡ ジャイロスコープ / 心拍センサー / 虹彩スキャナー / 光センサー / 地磁気センサー / モーションセンサー / 近接センサー / 相対湿度センサー / 温度センサー / UV センサー / ⚡ 振動

システム · 10テスト

⚡ 通信事業者の選択 / Device Protection / モバイル識別子の表示 / Find My Mobile / ⚡ 内部ストレージ / ⚡ OS バージョン / ⚡ Root 確認 / SD カード（挿入／取り外し） / ⚡ SIM カード / ストレージ容量

対応範囲。 Android 7,000+ モデルに対応。Express Connect は USB デバッグを必要とせずに Android 16+ デバイスを消去するため、消去工程がオペレーターの探す開発者向け設定に依存しません。

ロックと不正の検出

別工程ではなく、実行中に確認します。報告するのみで、回避は行いません。

Apple ID と Find My、GSMA Lost & Stolen、FRP、パスコードとロック画面の検出、偽造デバイス検出、非純正の交換部品。当社は検出した内容を報告します。ロックの解除も回避も行いません。

検出項目	報告される内容	ステータス
Apple ID ロック · Find My（FMIP / FMAP）	iOS のアクティベーションロックと Find My の状態。識別時に読み取り、カード上に表示します。	● 報告
GSMA Lost & Stolen	IMEI を GSMA ブラックリストと照合します。該当した場合は「IMEI lost/stolen」を明示してスロットを失敗とします。	● 報告
FRP · Device Protection	Android の工場出荷時リセット保護とデバイス保護の状態。	● 報告
パスコード · ロック画面	消去工程に到達する前に、パスコードまたはロック画面が設定されているかどうか。	● 報告
偽造デバイス · 非純正部品	偽造デバイスの検出と、非純正の交換部品の特定。	● 報告
Root · SIM · SD · eSIM · バッテリー	Root または Jailbreak の状態、カードと eSIM の有無、バッテリー状態を自動で読み取ります。	● 報告
ロックの解除・回避	提供しません。ロックされたデバイスはロック済みとして記録され、お客様のワークフローに従って振り分けられます。	● 実施しません

消去

ADISA 保証レベル 4 の認証を取得した消去、NIST 800-88 準拠。

ADISA Research Centre の Product Claims Test による独立検証済みです。使用した方式はすべてのレポートと証明書に明記され、検証・診断・消去は1つのスロットで1セッションとして実行されます。

方式	適用対象	仕組み	準拠規格
コンテンツ消去	iOS · Android	暗号化方式を特定したうえで、デバイスに適した方式でデータを削除します。工場出荷時リセットは再識別によって確認します。	● NIST 800-88
Express Connect	Android 16+	USB デバッグは不要。開発者向け設定なしでステーションから消去します。	● NIST 800-88
スマートフォンのフラッシュ書き換え	iOS · Android	ファームウェアを書き換え、デバイスは既知の状態で戻ります。	● NIST 800-88
アクセラレーターモジュール	iOS · Android	同じ作業台でのデータ検証と Smart Clear。	● 検証済み

証明と CONTROL CENTER

証拠は社外へ出せます。

処理したすべてのデバイスは、アカウントもサインインも不要の公開ページで、IMEI・シリアル・MEID・GUID から照会できます。Control Center 内では、同じ証拠がそのデバイス自身の履歴上に置かれます。

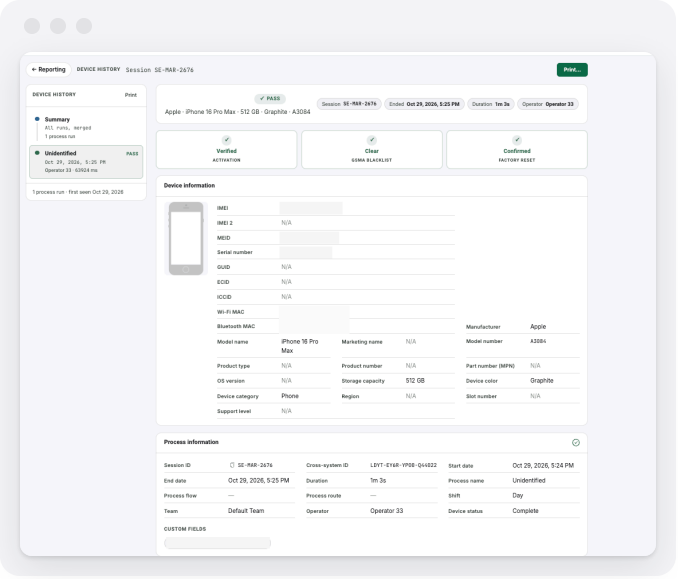


図8 Control Center → デバイス履歴。アクティベーション検証済み、GSMA クリア、工場出荷時リセット確認済みがレコード上にタイルとして表示され、その下に識別子ブロックと処理情報が並びます。

証明書。

- **公開照会**：verified.assetscience.com/verify で IMEI・シリアル・MEID・GUID から照会。
- **共有リンクと PDF**。ラベル上の QR コードは同じ証明書にリンクします。
- **記載内容**：消去方式、ADISA 保証レベル、GSMA ブラックリストと工場出荷時リセットの状態、診断結果、バッテリー状態。
- **バッチ** CSV エクスポートと一括 PDF 証明書。最大30,000件の識別子を含む CSV からの一括照会。
- **公開範囲はお客様が決めます。** 検索結果、証明書リンク、PDF ダウンロードは、顧客アカウントごとに3つの独立したスイッチです。
- **Not Found** が、誰も処理していないデバイスに対する回答です。体裁のよい空白ではありません。

CONTROL CENTER

一度定義すれば、すべてのステーションが従います。

プログラム、プラットフォーム別のテストスイート、失敗コード、SKU、カスタムフィールド、拠点は Control Center で設定します。ステーションはテナントにサインインし、指示された内容を実行します。専用ハードウェアは不要です。

分析

ユニット単位の履歴、オペレーター監査、UPH。

Explore は処理実行のライブグリッドで、フィルター、グラフ化、エクスポートが可能です。デバイス履歴は1ユニットの全履歴です。シフト帯付きの時間別 UPH、前日比較、リトライ率、失敗のドリルダウン。

API とエクスポート

当社に依頼せずにデータを出し入れできます。

テナント・拠点・デプロイ単位にスコープ付きキーを設定できる統一 REST エンドポイント。CSV・Excel エクスポート、47列から選択可能、レポートの週次または月次定期配信。GSMA Device Check は無料のテストモード付き。

デバイスごとに1件のレコード

。テスト結果、ロック状態、消去が同じレコードに記録されます。

PDD ステーションでの実行はすべて、そのデバイスの履歴における1回の処理として記録され、公開された証明書が正式なレコードとなります。

ひと言でいえば

1台の作業台で複数のデバイスを、それぞれ個別のスイート、レコード、証明書とともに。

Android 133テストと iOS 83テスト。ADISA 保証レベル 4 の認証を取得した消去。ロックは報告するのみで、回避は行いません。Windows ステーションでも Mac でも、すでに設定済みの Control Center に対して動作します。

お手元のデバイスでお試しください。

無料トライアルを開始し、お客様の拠点のステーションでスイートを実行してください。Windows でも Mac でも、お客様のデバイスとプログラムで。専用ハードウェアは不要です。

無料トライアル
onboarding.assetscience.com/onboarding/account

公開証明書
verified.assetscience.com/verify

ウェブ
assetscience.com

© 2026 Asset Science. スクリーンショットは製品版ビルドのものです。表示されているデバイス識別子、オペレーター名、顧客データは架空のものです。Pro-Diagnostics は ADISA Product Claims Test に基づき ADISA 保証レベル 4 の認証を取得しています。製品名および商標は各所有者に帰属します。